

タイラギの生息状況について（55点調査結果）

令和元年11月29日

佐賀県有明水産振興センター

1. 目的

この調査は毎年1回実施し、タイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

2. 調査年月日

令和元年10月4, 6, 7, 9, 20～23日の8日間。

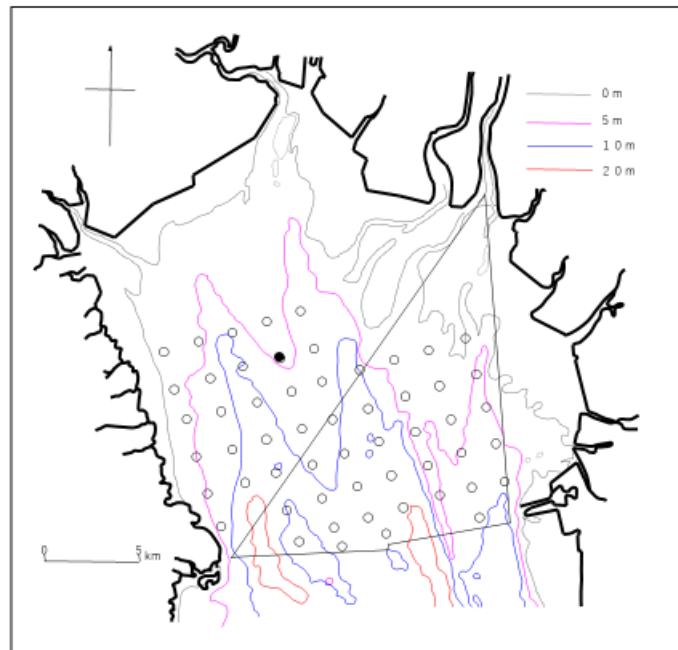
3. 調査方法

- ① 潜水器船で、1隻1日あたり5地点ずつ、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点において、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰り、殻長、重量等を測定した。

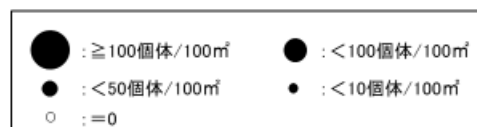
4. 調査結果

① タイラギ成貝の生息状況

下図に示したとおり、成貝は55地点中、1地点で確認された。平均殻長は、162mm（160～164mm）であった。



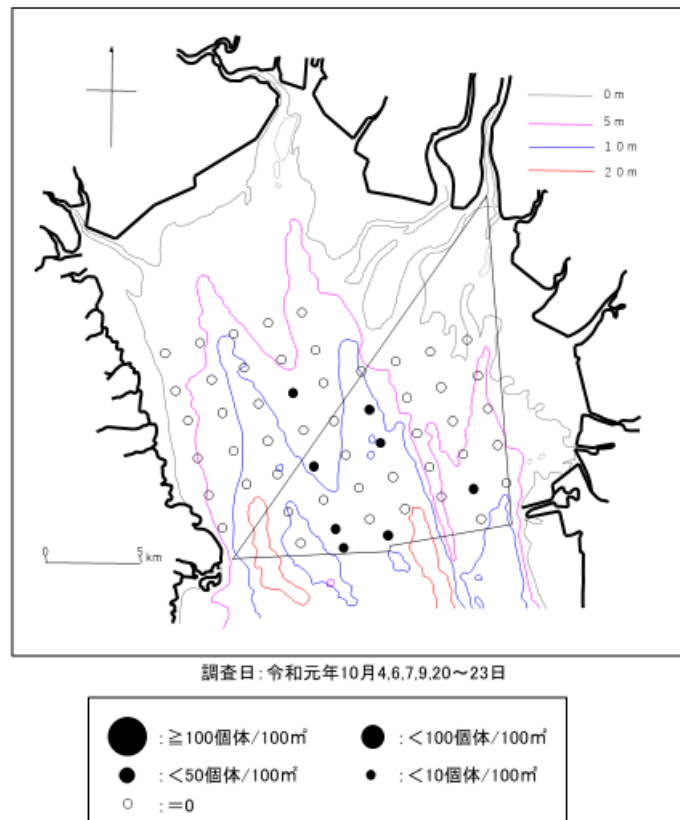
調査日：令和元年10月4,6,7,9,20～23日



タイラギ成貝生息密度（令和元年度55点調査）

② タイラギ稚貝の生息状況

下図に示したとおり、稚貝は55地点中8地点で確認された。100㎡当たりの採捕数は最高で5個であった。平均殻長は、64mm（44～99mm）であった。



タイラギ稚貝生息密度（令和元年度55点調査）